LEICA V-LUX 2

取扱説明書 / Instructions / Notice d'utilisation / Instrucciones

はじめに

このたびは LEICA V-LUX 2をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

著作権にお気をつけください

- あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

おしらせ

本書に記載のイラスト·メニュー画面などは実物と多少異なる場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

⚠危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない

（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
– チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
– 電源を切り、販売店にご相談ください。

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流 100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

⚠警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

⚠警告

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。
- 本体やチャージャーには、金属部があります。

ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。
- 首に掛けての使用はしない

ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

⚠注意

フラッシュ発光部および AF補助光は、至近距離（数cm）で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

⚠注意

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズキャップやひもを持って、本機をぶら下げたり、振り回したりしない

ひもが切れて本機が落下し、けがや破損の原因になることがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください.......... 2
付属品.......... 10
別売品のご紹介.......... 10
各部の名前.......... 11
バッテリーを充電する.......... 14
内蔵メモリー/カードについて.......... 17
バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す.......... 18
時計を設定する.......... 19
・時計設定を変更する.......... 19
メニューを使って設定する.......... 20
撮影モードを選ぶ.......... 21
スナップショットモード.......... 23
・自動シーン判別について.......... 24
・追尾 AF 機能.......... 24
プログラムAEモード.......... 25
・プログラムシフトについて.......... 26
露出補正.......... 27
絞り/シャッター優先AEモード.......... 28
・絞り優先AEモード.......... 28
・シャッター優先AEモード.......... 28
マニュアル露出モード.......... 29
コンティニュアスモード.......... 30
動画を撮る.......... 31
画像を見る ([通常再生]).......... 32
画像を消去する.......... 32
付属CD-ROMに収録されている取扱説明書を読む.......... 33
仕様.......... 34
ライカサービスアドレス.......... 37

付属品

	オーダー番号
バッテリーパック BP-DC9-E BP-DC9-U	 18 717 18 718
バッテリーチャージャー BC-DC9-E BC-DC9-U	 423-094.001-010 423-094.002-010
電源ケーブル EU UK AUS 台湾 中国 韓国	 423-068.801-019 423-068.801-020 423-068.801-023 424-025.002-000 423-082.805-004 423-082.805-005 (仕向け地により異なります)
ショルダーストラップ	423-094.001-014
レンズフード	423-094.001-015
レンズキャップ	423-094.001-018
レンズキャップひも	423-094.001-019
CD-ROM (取扱説明書収録)	423-094.001-016
USB接続ケーブル	423-082.001-020
AVケーブル	423-082.001-022
ボタン表示シール (カナダ/台湾向け)	423-094.001-025
取扱説明書(本書)	93 353 -56 (仕向け地により異なります)
登録、ソフトウェアのダウンロードについての取扱説明書	93 368
保証書	439-399.100-026

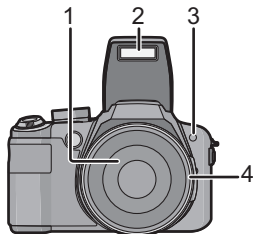
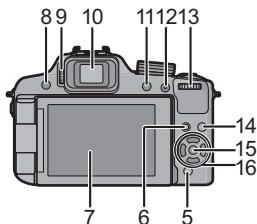
別売品のご紹介

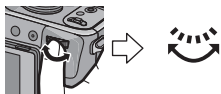
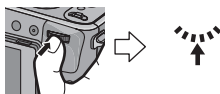
	オーダー番号
アウトドアケース	18 721
HDMIミニケーブル	14 491
LEICA CF 22 フラッシュ	18 694
ミニ三脚	14 320
卓上三脚	14 110
自由雲台	14 100

お知らせ

- メモリーカードは別売です。カードがないときは、内蔵メモリーを使って、画像を撮影したり再生したりできます。
- お使いの前に、付属品をご確認ください。
- 付属品の種類や形状は、購入された国や地域によって異なる場合があります。
- 本文中ではバッテリーパックまたはバッテリーと表記します
- 本文中ではバッテリーチャージャーまたはチャージャーと表記します。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。(P40)

各部の名前

1　レンズ部
2　フラッシュ発光部
3　セルフタイマーランプ
　　AF補助光ランプ
4　レンズフード取付部

5　[Q.MENU]（クイックメニュー）/消去ボタン
6　[DISPLAY]（ディスプレイ）ボタン
7　液晶モニター
8　フラッシュOPENボタン
9　視度調整ダイヤル
10　ファインダー
11　[EVF/LCD]ボタン
12　[AF/AE LOCK]ボタン

13　後ダイヤル

本書では、後ダイヤルを下図のように説明しています：

例：左右に回すとき	例：後ダイヤルを押すとき

14　再生ボタン
15　[MENU/SET]（メニュー セット）ボタン

16 カーソルボタン

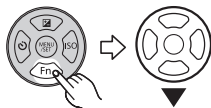
◄/ セルフタイマー

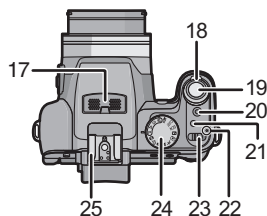
ファンクション
▼/ Fn ボタン

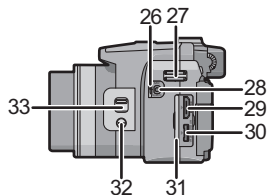
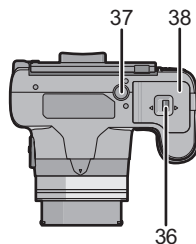
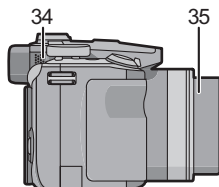
▼ ボタンに撮影メニューを割り当てることができます。よく使う撮影メニューを登録しておくと便利です。
[フィルムモード]/[画像横縦比]/[クオリティ]/[測光モード]/[ホワイトバランス]/[暗部補正]/[ガイドライン表示]/[動画記録枠表示]/[残量表示切換]

►/ ISO

▲/ 暗部補正/ オートブラケット / フラッシュ発光量調整

本書ではカーソルボタンを下図のように、または、▲/▼/◄/► で説明しています。
例: ▼(下)ボタンを押すとき

または **▼ を押す**

ステレオ マイク
17 STEREO MIC
18 ズームレバー
19 シャッターボタン
20 動画ボタン
21 連写ボタン
22 電源ランプ
23 電源スイッチ
24 モードダイヤル
25 ホットシュー

26 [MIC(マイク)/REMOTE(リモート)]端子扉
27 ショルダーストラップ取付部
28 [MIC(マイク)/REMOTE(リモート)]端子＊
  ＊ 音声記録には、パナソニック製マイクロホン DMW-MS1のみをお使いください。
  リモコン操作には、パナソニック製DMW-RSL1のみをお使いください。
29 [HDMI] socket
30 [AV OUT(アウト)/DIGITAL(デジタル)]端子
31 端子扉
32 [FOCUS]ボタン
33 フォーカス切換スイッチ

34 スピーカー
35 レンズ鏡筒

36 開閉レバー
37 三脚取付部
  • 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
38 カード/バッテリー扉
  • 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をおすすめします。

バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー

本機で使えるバッテリーは、ライカ純正バッテリーBP-DC9 E/Uのみです。(P10)

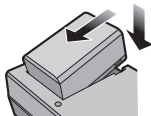
ライカカメラAG製純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。 ライカカメラ AG では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。 安全に商品をご使用いただくために、ライカ純正バッテリーBP-DC9 E/U (P10) のご使用をおすすめいたします。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。
- 本機には、安全に使用できるバッテリーを判別する機能があり、ライカ純正バッテリーは、この機能に対応しています。本機で使用できるバッテリーは、ライカカメラ AG 製の純正品BP-DC9 E/U (P10) のみです。(この機能に対応していないバッテリーは使用できません)
  なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質・性能・安全性については一切保証できません。

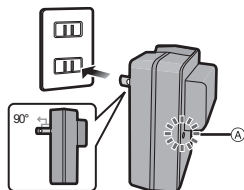
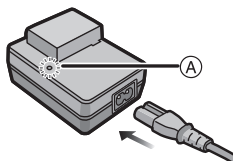
■ 充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。
- 充電は周囲の温度が10 ℃～30 ℃(バッテリーの温度も同様)のところで行うことをおすすめします。

バッテリーをチャージャーに取りつける

- “LEICA”ロゴ表示を上にして、端子を合わせる。

2 電源コンセントに差し込む

- 充電完了後は､チャージャーを電源コンセントから抜き､バッテリーを取り外してください。

プラグインタイプ

インレットタイプ

■ **充電ランプの表示について**

[CHARGE] ランプⒶが点灯する :	充電が開始され充電ランプが点灯します。
[CHARGE] ランプⒶが消灯する :	充電が正しく完了すると､チャージャーの[CHARGE]ランプが消灯します。

- **点滅するときは**
  – バッテリーの温度が高すぎる､あるいは低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電することをおすすめします。
  – チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは､汚れを乾いた布でふき取ってください。

■ 充電について

充電時間	約155分

■ 写真記録 (液晶モニター/ ファインダー使用時)

記録可能枚数	約410枚	条件はCIPA規格でプログラムAEモード時
撮影使用時間	約205分	

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%RH、液晶モニターを点灯
- SDメモリーカード(32 MB)使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始(手ブレ補正[AUTO]使用)
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

■ 再生 (液晶モニター/ ファインダー使用時)

再生使用時間	約330分

内蔵メモリー/カードについて

内蔵メモリー

- **容量：約40 MB**
- カードの容量がなくなった場合の臨時用メモリーとしてお使いいただけます。
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。

本機で使えるカードの種類	備考
SDメモリーカード（8 MB～2 GB）	• SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。 • SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。 • SDXC メモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。
SDHCメモリーカード（4 GB～32 GB）	
SDXCメモリーカード（48 GB、64 GB）	

- 4 GB～32 GBのカードはSDHCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用できます。
- 48 GB、64 GBのカードはSDXCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用できます。
- [AVCHD]で動画撮影の際は、SDスピードクラス＊が「Class4」以上のカードを使用してください。また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。

＊ SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

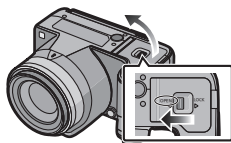
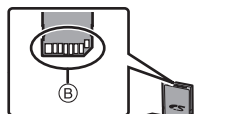
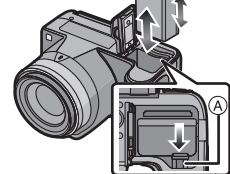
お知らせ

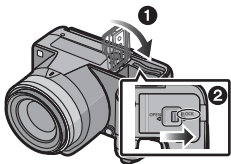
- 誤って飲み込まないように、メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かないでください。

バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す

- 電源スイッチを [OFF] にして、レンズ鏡筒が収納されていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

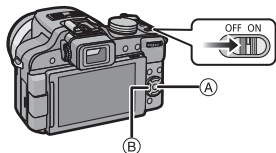
1 開閉レバーを矢印側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

- ライカ純正のバッテリーBP-DC9 E/U (P10) をお使いください。
- 純正品以外の他社製バッテリーを使用した場合、品質については一切保証できません。

2 バッテリー:
向きに気をつけて、Ⓐのレバーでロックされるまで入れる
取り出すときは、Ⓐのレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード:
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

Ⓑ: 端子部には触れないでください。
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

3 ❶:カード / バッテリー扉を閉じる
❷:開閉レバーを矢印側にスライドさせる

時計を設定する

• お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする

Ⓐ [MENU/SET] ボタン
Ⓑ カーソルボタン
• レンズ鏡筒が伸びます。

2 [MENU/SET]を押す

3 ▲/▼ で表示言語を選び、[MENU/SET] を押す

4 [MENU/SET]を押す

5 ◄/► で合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼ で設定する

• [🗑]を押すと、時計を設定せずに中止することができます。

6 [MENU/SET]を押して決定する

7 [MENU/SET]を押す

• [🗑]を押すと、設定画面に戻ります。

時計設定を変更する

撮影メニューまたはセットアップメニューの[時計設定]を選び、► を押してください。

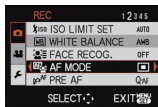
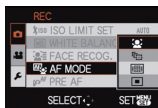
• 上記の手順**5**、**6**の操作で変更できます。

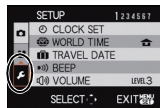
メニューを使って設定する

ここでは、プログラムAEモードの設定方法を説明していますが、動画撮影メニューや再生メニュー、セットアップメニューも同じ方法で設定できます。
例: フォーカス切換スイッチを[AF]に合わせた状態のプログラムAEモードで、[オートフォーカスモード]を[■](1点)から[顔](顔認識)に設定する

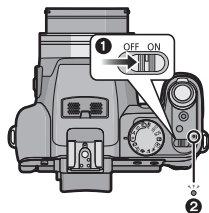
1 [MENU/SET]を押してメニューを表示させる

2 ▲/▼で[オートフォーカスモード]を選び、▶を押す

- 項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされかたが異なるものがあります。

3 ▲/▼で[顔]を 選 び、[MENU/SET]を押して決定する

4 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

他のメニューとの切り換え
例)セットアップメニューとの切り換え **1** [MENU/SET]を押してメニューを表示させる **2** ◀を押す **3** ▼でセットアップメニューアイコン[🔧]を選ぶ **4** ▶を押す • 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

撮影モードを選ぶ

電源スイッチを [ON] にする

• 電源が入ると❶電源ランプ❷が点灯します。

2 モードダイヤルを切り換える

Ⓐ の部分に使用したいモードを合わせる。

- **モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。(モードダイヤルは360° 回転します)**

■ 基本

[A] スナップショットモード	
カメラにおまかせで撮影します。	
[P] プログラム AE モード	
お好みの設定で撮影します。	

■ 応用

A　絞り優先 AE モード

絞り値を決めて撮影します。

S　シャッター優先 AE モード

シャッタースピードを決めて撮影します。

M　マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

クリエイティブ動画モード

マニュアル操作で動画を撮影します。

CUST　カスタムモード

あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。

SCN　シーンモード

撮影シーンに合わせて撮影します。

マイカラーモード

色の効果を確認し、12 種類のカラーモードから選択して撮影します。

■ アドバンスシーンモード

人物モード

人物を撮影します。

風景モード

風景を撮影します。

スポーツモード

スポーツシーンを撮影します。

クローズアップモード

近くにある被写体を撮影します。

夜景 & 人物モード

夜景や夜景を背景にした人物を撮影します。

撮影モード：[A]

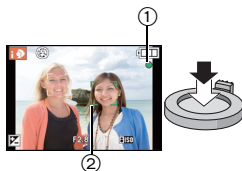
スナップショットモード

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に撮りたいときや初心者におすすめです。

1 モードダイヤルを[A]に合わせる

2 両手で本機をしっかり持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示①(緑)が点灯します。
- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリア②が表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAFエリアが表示されます。
- ピントが合う範囲は1 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞です。

4 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

[A] →

シーン	
i人物	
i風景	
iマクロ	
i夜景&人物	• [i⚡A]選択時のみ
i夜景	
i夕焼け	
i赤ちゃん	

- どのシーンにもあてはまらない場合は [A] になり、標準的な設定を行います。
- [i人物]、[i夜景&人物]、[i赤ちゃん] のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**(顔認識)**

追尾 AF 機能

指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。

1　[FOCUS] を押す

- 画面左上に[追尾AF]が表示されます。
- 画面中央に追尾AF枠が表示されます。
- もう一度 [FOCUS] を押すと、追尾 AF は解除されます。

FOCUS

2　被写体を追尾AF枠に合わせ、[AF/AE LOCK] を押して被写体にロックする

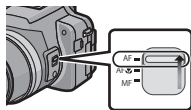
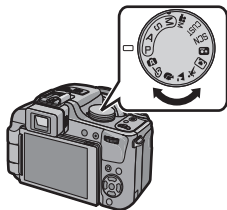
- 追尾 AF 枠が黄色に変わります。
- ロックした被写体に最適なシーンを判別します。
- もう一度　[FOCUS] を押すと、ロックは解除されます。

撮影モード：P

プログラムAEモード

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

モードダイヤルを[P]に合わせる。

• フォーカス切換スイッチを[AF]にする。

2 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

• ピントが合う範囲は30 cm(W 端時)/2 m(T 端時)～∞です。

4 半押しのままさらにシャッターボタンを全押しして撮影する

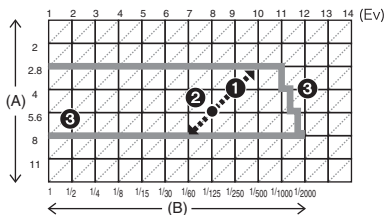
プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。
プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現した(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

- シャッターボタンを半押しして、液晶モニター/ファインダーに絞り値とシャッタースピードの数値が表示されている間に(約10 秒間)、後ダイヤルでプログラムシフトしてください。
- プログラムシフトされている場合は、画面にプログラムシフト表示 Ⓐ が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを [OFF] にするか、プログラムシフト表示が消えるまで後ダイヤルを回してください。

■ プログラムシフトの例

(A): 絞り値
(B): シャッタースピード
❶ プログラムシフト範囲
❷ 自動設定値
❸ プログラムシフト限界

撮影モード：P A S CUST SCN

露出補正

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

▲(露出補正)を押して[露出補正]を表示させ、◄/► で露出を補正する

- 露出を補正しない場合は、“0 EV” を選んでください。

2 [MENU/SET]を押して終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ 後ダイヤルで操作する

1 後ダイヤルを押して[露出補正]を有効にし、後ダイヤルを回して露出を補正する

Ⓐ露出補正値

2 シャッターボタンを半押しして終了する

撮影モード：AS

絞り／シャッター優先AEモード

絞り優先AEモード［A］

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 モードダイヤルを［A］に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値を設定する

3 撮影する

シャッター優先AEモード［S］

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 モードダイヤルを［S］に合わせる

2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

3 撮影する

撮影モード：M

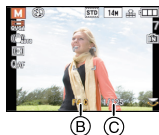
マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

モードダイヤルを [M] に合わせる

• マニュアル露出アシストⒶが約10秒間表示されます。

2 後ダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する

Ⓑ 絞り値
Ⓒ シャッタースピード
• 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。

3 シャッターボタンを半押しする

• マニュアル露出アシストⒶが約10秒間表示されます。
• 適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードを設定し直してください。

4 撮影する

■ マニュアル露出アシストについて

-2 -1 (0) +1 +2	適正露出になります。
-2 -1 0 (+1) +2	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
-2 (-1) 0 +1 +2	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

• マニュアル露出アシストは目安です。

撮影モード：

コンティニュアスモード

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。撮影後、お気に入りの画像を選んでください。
連写速度を撮影状況や被写体に合わせて選択できます。
連写撮影された画像はひとつの連写グループとして、記録されます。

1 [ ](連写)ボタンを押して連写設定メニューを表示させる

2 ◀/▶で連写速度を選び、[MENU/SET]を押す

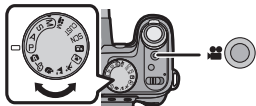
	連写速度
[2]:	2 fps(コマ/秒)
[5]:	5 fps
[11]:	11 fps
[40]:	40 fps
[60]:	60 fps

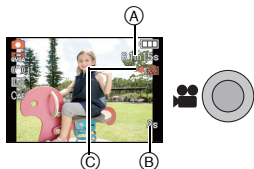
3 撮影する

撮影モード：

動画を撮る

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、Motion JPEGで記録される動画を撮影できます。
音声はステレオで記録されます。
• フラッシュを閉じる。(フラッシュを開いた状態でも記録される音質に大きな違いはありませんが、フラッシュを閉じて動画撮影することをおすすめします)

1 モードを選ぶ

2 動画ボタンを押して撮影を開始する

Ⓐ 記録可能時間
Ⓑ 記録経過時間
• 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
• 動画の記録中は、記録動作表示(赤)Ⓒが点滅します。

3 再度動画ボタンを押して撮影を終了する

• 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

お知らせ

• **カメラモデル18 393/18 394について:**
[MOTION JPEG]またはシーンモードの[ハイスピード動画]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。
[AVCHD]で動画を連続で撮影できるのは、最大13時間3分20秒までです。画面には13時間3分20秒までしか表示されません。ただし、バッテリー残量によっては、撮影が途中で終了する場合があります。
• **カメラモデル18 392について:**
動画を連続して撮影できるのは、29分までです。また[MOTION JPEG]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。(例:[7m 50s]、[HD]設定時)連続撮影可能な残り時間が表示されます。

再生モード：▶

画像を見る（[通常再生]）

1 [▶] を押す

2 ◀/▶ で画像を送る

• 動画を見る場合は、▲ を押して再生を開始してください。

再生モード：▶

画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

•内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。

1 消去する画像を選び、[🗑] を押す

2 ◀で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す

付属CD-ROMに収録されている取扱説明書を読む

• 本書の内容を理解し、他の機能や応用操作について知りたいとき
• 「Q & A 故障かな？と思ったら」を参照したいとき
そのようなときは、付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書（PDF形式）をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れ、付属のCD-ROMをセットする

2 CD-ROM を開く

3 表示したい言語の PDF ファイルをダブルクリックして開く

■ 取扱説明書（PDF 形式）が開かなかった場合

取扱説明書（PDF 形式）を閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。
• 下記のサイトから、お使いのパソコンの OS に対応したバージョンの Adobe Reader をダウンロードして、インストールしてください。
http://get.adobe.com/reader/otherversions

仕様

撮像素子	1/2.33型 MOSセンサー　総画素数1510万画素、 原色カラーフィルター
有効画素数	1410万画素
最低照度	約12 lx(iローライト時)
レンズ	LEICA DC VARIO-ELMARIT 4.5～108 mm f/2.8～8(2.8～11 動画撮影時)/ASPH., 35 mmフィルムカメラ換算:25-600 mm
撮影可能範囲	
P/A/S/M	30 cm(W端時)/2 m(T 端時)～∞
マクロ / スナップショット / 動画	1 cm (W端時)/1 m (T端時)～∞
シーンモード	上記範囲と異なる場合あり
デジタルズーム	最大4倍
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
シャッタースピード	60 秒～1/2000 秒、 シーンモードの[星空]:15 秒、30 秒、60 秒
連写撮影	(最大連写枚数 / 最大記録画素数)
メカシャッター時	2 fps　100 / 14 MP 5 fps　100 / 14 MP 11 fps　15 / 14 MP
電子シャッター時	40 fps　50 / 5 MP 60 fps　60 / 3.5 MP
動画撮影中	2/5/10 fps　40 / 3.5 MP

露出モード	プログラムAE(P)、絞り優先AE(A)、 シャッター優先 AE(S)、マニュアル露出(M) 露出補正 (補正値:1/3 EV ステップ、補正範囲:± 3 EV)
測光方式	マルチ測光/中央重点測光/スポット測光
フラッシュ	内蔵ポップアップ式
フラッシュモード	オート/赤目軽減オート/強制発光(赤目軽減強制発光)/ 赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
フラッシュ撮影可能範囲 (ISO AUTO 設定時)	約 30 cm～約9.5 m(W端)
液晶モニター	3.0型TFT液晶(約460,000 ドット)、 視野率約100%
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー(約 202,000 ドット) 視野率約100% 視度調整付き± 4diopter
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー(約40 MB)/SDメモリーカード/ SDHCメモリーカード /SDXCメモリーカード
記録画像ファイル形式	
写真	RAW/JPEG(Exif2.3準拠)、DPOF対応
動画(音声付き *)	AVCHD/QuickTime Motion JPEG * 音声記録にはパナソニック製マイクロホン DMW-MS1のみをお使いください。

推奨使用温度/許容相対湿度	0 ℃～40 ℃/10%RH～80%RH
インターフェース	デジタル: USB 2.0(High Speed) モデル番号18 392では、USB接続ケーブルを使ってパソコンからカメラにデータを書き込むことはできません。 アナログビデオ/オーディオ: NTSC/PAL コンポジット出力(メニューで切り換え)、オーディオライン出力(ステレオ)
端子	HDMI: miniHDMI(Cタイプ) AV OUT/DIGITAL:専用ジャック(14 pin) MIC/REMOTE:ø2.5 mm ジャック
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き;レンズ格納時)	約 124.5 × 81 × 95 mm
質量 (カード、バッテリーを含む / 本体のみ)	約 540 g/496 g

**バッテリー
(リチウムイオン)**

電圧/容量	7.2 V / 895 mAh

**バッテリー
チャージャー**

定格入力	AC 110 - 240 V 50/60 Hz, 0.15 A
定格出力	DC 8.4 V 0.43 A

ライカサービスアドレス

ライカ・アカデミー
自然観察用具から再生機器まで、高性能な精度の高い製品を提供しているライカは、長年、特別サービスとしてライカ・アカデミーを開催してきました。ライカ・アカデミーは実践に即したセミナーおよび講習会で、初心者はもちろん、上級者の方まで、写真撮影や投影、そして引き伸ばし写真の世界をもっと身近に体験することができます。コースは、ライカのソルムス工場内や近郊にあるグート・アルテンベルク(Gut Altenberg)にある近代設備の整ったセミナー室で行なわれます。講師陣は、熟練の専門家たち。コースの内容は、写真撮影全般に関する事柄から、興味深い専門分野までさまざまです。多くの実践に役立つヒントや情報、そしてアドバイスをご提供いたします。
詳しい情報および写真撮影ツアーを含む最新のセミナー・プログラムについてのお問い合わせ:

Leica Camera AG
Leica Akademie
Oskar-Barnack-Str. 11
D-35606 Solms
電 話 +49 (0) 6442-208-421
ファックス +49 (0) 6442-208-425
la@leica-camera.com

ライカのホームページ
製品、新製品、イベント、ライカについての最新情報は、次のアドレスのホームページに掲載されています。

http://www.leica-camera.co.jp

ライカインフォメーションサービス
お客様からのライカ製品の使用技術上の質問には、ライカインフォメーションサービスが書面、電話、ファックス、e メールで回答いたします。次の連絡先にお問い合わせください。

Leica Camera AG
Informations-Service
Postfach 1180
D-35599 Solms
電 話 +49 (0) 6442-208-111
ファックス +49 (0) 6442-208-339
info@leica-camera.com

ライカカスタマーサービス
お手持ちのライカ製品のメンテナンスが必要な場合もしくは破損した場合、ライカカスタマーサービスまたは各国のライカ代理店の修理サービスが対応いたします(所在地一覧表は保証書をご覧ください)。

Leica Camera AG
Customer Service
Solmser Gewerbepark 8
D-35606 Solms
電 話 +49 (0) 6442-208-189
ファックス +49 (0) 6442-208-339
customer.service@leica-camera.com

■ ご使用上のお願い

- 付属のAVケーブル以外のものを使用しないでください。
- 付属のUSB接続ケーブル以外のものを使用しないでください。
- ライカ純正のHDMIミニケーブルをお使いください。（別売、P10）

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れてお使いください

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響をおよぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わないでください

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

使用済み充電式電池の届け先

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
ホームページ http://www.jbrc.net/hp

Li-ion 20

充電式
リチウムイオン
電池使用

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

• SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
• “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
• ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
• HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
• QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。
• LEICA/ライカは、ライカマイクロシステムIR GmbHの登録商標です。
• ELMARIT/エルマリートは、ライカカメラAGの登録商標です。
• その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
• AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
• 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
• ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。